



IBM[®] Access
Connections 2.7 デプロイメント・ガイド

目次

第 1 章 本書の目的と対象読者	1	Access Connections ロケーション プロファイルをリ モート側でデプロイする	14
第 2 章 Access Connections について	3	無人デプロイメント	15
第 3 章 デプロイメント前の考慮事項	5	在席デプロイメント	15
デプロイメントの要件および仕様	5	第 5 章 既知の問題、競合、および解決	17
第 4 章 Access Connections のデプロイ メント	7	ワイヤレス・プロファイルのデプロイメントにおけ る特殊な例	17
Access Connections のデプロイメント機能	7	付録. 特記事項.	19
管理者機能を使用可能にする	7	Web サイト・アドレスの参照	20
管理者機能を使用する	8	商標	20
新規イメージのインストールを準備する	13		

第 1 章 本書の目的と対象読者

本書は、IT 管理者、または IBM(R) Access Connections を組織内のコンピューターにデプロイする担当者を対象としています。本書は、Access Connections を 1 台以上のコンピューターにインストールするために必要な情報を提供することを目的としています。同ソフトウェアのライセンスが各ターゲット・コンピューターで有効であることが条件となります。IBM Access Connections アプリケーションは、管理者およびユーザーがアプリケーション自体の使用に関する情報を参照できるアプリケーション・ヘルプを提供します。

第 2 章 Access Connections について

Access Connections は、ロケーション・プロファイルを作成および管理する接続支援プログラムです。それぞれのロケーション プロファイルには、自宅や職場など特定の場所からクライアント・コンピューターをネットワークに接続するために必要な、ネットワークとインターネットの構成設定値が保管されます。モデム、有線ネットワーク・アダプター、ブロードバンド・デバイス (DSL、ケーブル・モデム、または ISDN)、またはワイヤレス・ネットワーク・アダプターを使用して、ネットワーク接続を行うことができます。仮想プライベート・ネットワーク (VPN) 接続もサポートされます。コンピューターをさまざまな場所に移動するたびにロケーションプロファイルを切り替えることによって、Access Connections はユーザーをネットワークに素早く簡単に接続でき、手動でネットワーク設定値を再構成する必要はありません。さらに、デフォルト・プリンター、セキュリティー設定値、および自動プログラム起動の設定値は、ロケーション プロファイルごとに設定できます。

Access Connections はネットワークの可用性およびネットワーク・スループット速度を検出できるため、多くの構成変更を自動的に行うことができます。デプロイメントの前に多くのネットワーク設定値を「事前設定」することにより、Access Connections は IT 管理者へのユーザー・コールの回数を減らし、ユーザーがヘルプ・デスクまたは IT サポートなしに素早く接続する上で役立ちます。

第 3 章 デプロイメント前の考慮事項

Access Connections は接続プロファイルを作成して保管する機能を提供します。接続プロファイルは、ターゲット・マシンにインポートまたはロードできます。

Access Connections を正常にインストールすると、ハードウェア別ではなくロケーション別のプロファイルを作成できます。たとえば、クライアントが、オフィスと自宅で接続する必要があると同時に、オフィスと自宅から離れて出張する場合、さまざまな接続方法に基づいてモバイル・ユーザー用の 3 つのロケーションを作成します。すなわち、オフィスのプロファイルはイーサネットおよびワイヤレス接続、自宅のプロファイルはイーサネット接続のみ、出張のプロファイルはワイヤレスの「ホット・スポット」接続またはイーサネット接続で構成されます。Access Connections は、自動的に最速の有効な接続を検出して、適切なプロファイル設定値を適用します。

ユーザーが接続を試行するさまざまな場所、およびそのロケーションで使用可能な接続の種類に関する情報を収集すると、ユーザーがインポートして直ちに使用できる事前構成されたプロファイルを作成する上で役立ちます。初期イメージでデプロイできる作業の構成をプロファイルに取り込むことにより、サポート・コールの回数が減り、ユーザーは介入なしにネットワーク接続を即時に利用できます。

管理者機能は、Access Connections のバージョン 2.7 またはそれ以降で使用可能です。この機能により、Access Connections を企業環境で実行すると、ロケーションプロファイル、グローバル設定、および制御ポリシーを個人または個人のグループにデプロイするタスクが単純化されます。これらのプロファイルおよび設定値のデプロイメントは、初期システム・デプロイメント時にプリロード・イメージの一部として、またはシステムが現場に設置された後に標準のリモート・デプロイメントの方法を使用して実行できます。

デプロイメントの要件および仕様

Access Connections を操作するには、以下のハードウェアおよびソフトウェア環境が必要です。

- Microsoft(R) Windows(R) 2000 または Windows(R) XP Professional または Home
- 少なくとも 1 つの接続方式 (イーサネット、トークンリング、ワイヤレス LAN)

第 4 章 Access Connections のデプロイメント

IBM は、2003 年 8 月の Access Connections 2.7 のリリースに伴い、デプロイメントと管理を容易にする機能を追加しています。

Access Connections のデプロイメント機能

以下のリストは、IT 管理者が Access Connections をデプロイおよび管理する上で役立つ機能を示しています。

- IBM Access Connections: プロファイル管理者プロファイル・デプロイメント機能用イネーブラーは、Access Connections のデプロイメント機能を使用可能にするために必要です。イネーブラーは、下記のサイトで IT 専門家のみを対象に提供されています。
<http://www-3.ibm.com/pc/support/site.wss/document.do?lnocid=ACON-DEPLOY>.
- 管理者は、ロケーション プロファイルを作成して、プリロード・イメージの一部として配布するか、クライアント・システムがデプロイされた後にインストールできます。
- 制御ポリシーを各プロファイルごとに設定できます。
- 配布制御リストを作成して、さまざまなデプロイメント・パッケージをインポートできるユーザーを制限できます。
- クライアント構成ポリシーを設定して、クライアント・コンピューターでの Access Connections の操作を構成できます。
- デプロイメント・パッケージは、許可された個人のみが WEP および WPA-PSK 情報を含むロケーション プロファイルをインポートできるように、暗号化され、パスワードで保護されます。

管理者機能を使用可能にする

Access Connections の管理者機能を使用可能にするには、最初に Access Connections 2.7 またはそれ以降をドナー・コンピューターにインストールする必要があります。

ワイヤレス・ネットワーク接続を使用するロケーション プロファイルをデプロイする場合、ドナー・コンピューターおよび受信側のコンピューターのワイヤレス・アダプターはロケーション プロファイルで定義される機能をサポートしている必要があります。たとえば、デプロイされたロケーション プロファイルが LEAP 認証用に構成されている場合、受信側システムのアダプターは LEAP 認証をサポートしている必要があります。

管理者機能を使用可能にするには、次のようにします。

1. 管理者機能イネーブラーを取得して、ロケーション プロファイルを作成するコンピューターに保管する。
(<http://www-3.ibm.com/pc/support/site.wss/document.do?lnocid=ACON-DEPLOY>)

2. 「**Start (スタート)**」 → 「**Run (ファイル名を指定して実行)**」をクリックしてから、「**Browse (参照)**」をクリックする。ステップ 1 で保管した自己解凍型実行可能ファイルを選択します。
3. 「**OK**」をクリックする。これにより、イネーブラー・アプリケーションが C:\Program Files\Thinkpad\ConnectUtilities に抽出されます。
4. Access Connections のメイン・ウィンドウが開いている場合は閉じる。
5. 「**Start (スタート)**」 → 「**Run (ファイル名を指定して実行)**」をクリックしてから、C:\Program Files\Thinkpad\ConnectUtilities\AdmEnblr.exe と入力する。



図 1. 「Enabler for Administrator Profile Deployment Feature (管理者プロファイル・デプロイメント機能用イネーブラー)」ウィンドウ

6. 「**Enable Administrator Feature (管理者機能を使用可能にする)**」を選択する。
7. 「**Exit (終了)**」を選択して、イネーブラーを閉じる。
8. Access Connections を起動する。

事前にコンピューターでプロファイルを作成していない場合、プロファイル作成ウィザードの初期ウィンドウが表示されます。少なくとも 1 つのプロファイルを作成した後に、Access Connections のメイン・ウィンドウを表示できます。「Profile Distribution (プロファイル配布)」とラベル付けされたメニュー・バーが表示されます。

管理者機能を使用する

管理者機能を使用するには、次のようにします。

1. ユーザーが必要とするすべてのロケーション プロファイルを作成する。プロファイルを作成する際、以下のニーズを考慮してください。
 - a. オフィス、ビル
 - b. 自宅
 - c. 営業所
 - d. 出張

2. ロケーション プロファイルを作成した後、「Profile Distribution (プロファイル配布)」→「Create Distribution Package (配布パッケージの作成)」をクリックする。

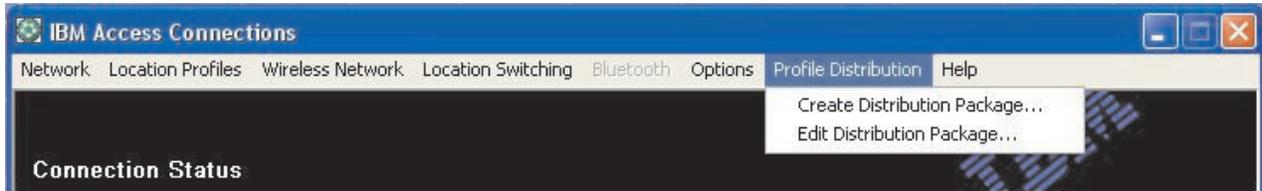


図2. プロファイル配布

3. デプロイするロケーション プロファイルを選択する。図3 に示すように、選択した各ロケーション プロファイルごとに、適切なユーザー・アクセス・ポリシーを選択します。選択したプロファイルに暗号化が使用可能にされたワイヤレス・プロファイルが含まれる場合、管理者にワイヤレス設定を再入力するようプロンプトが出され、機密データが公開されていないことを確認します。

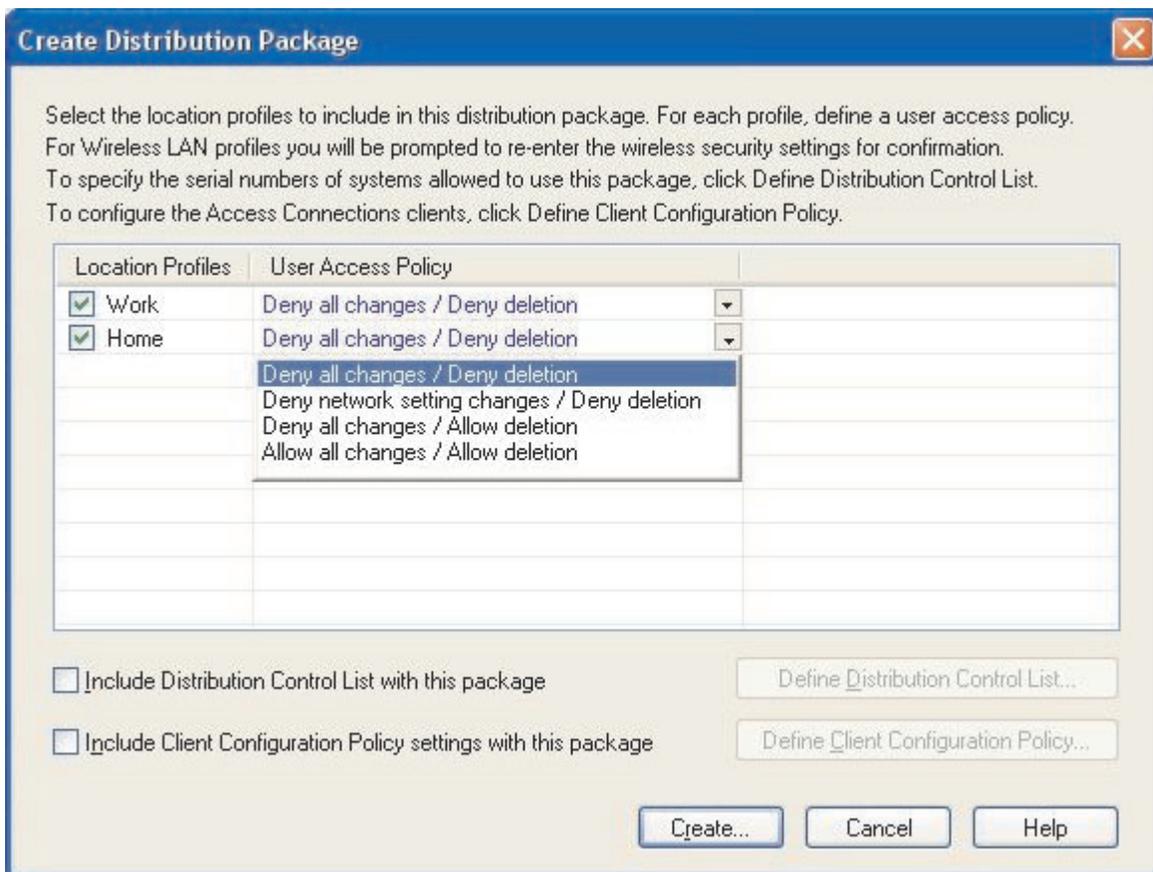


図3. 「Create Distribution Package (配布パッケージの作成)」ウィンドウ

アクセス制御ポリシーは、特定のプロファイルを対象とする制約事項を定義します。アクセス制御ポリシーは、プロファイルごとに定義でき、以下の値を持つことができます。

- a. **すべての変更を拒否/削除を拒否:** ユーザーは、プロファイルを変更、コピー、または削除などの操作を実行することができません。
- b. **ネットワーク設定の変更を拒否/削除を拒否:** この場合、プロファイルのネットワーク設定値を変更、削除、またはコピーできません。変更不可能なパラメーターは TCP/IP 設定、拡張 TCP/IP 設定、およびワイヤレス設定です。プロファイルを削除できません。
- c. **すべての変更を拒否/削除を許可:** ユーザーはプロファイルを変更またはコピーできません。ただし、ユーザーはプロファイルを削除することができます。
- d. **すべての変更を許可/削除を許可:** ユーザーは、プロファイルを変更、コピー、および削除できます。

制限: 上記の制御ポリシーは、管理者レベルの権限を持つローカル・ユーザーに適用できます。ローカル・ユーザーが制限ユーザーとして構成されている場合、より厳しい制約事項がオペレーティング・システムにより付与されます。制限ユーザーは、ダイヤルアップ接続タイプのプロファイルのみを作成でき、管理者が作成したプロファイルを変更、コピー、または削除できません。Access Connections のグローバル設定により、制限ユーザーは管理者が作成したプロファイル間で切り替えることができます。

4. **オプション:** 管理者は、コンピューターのシリアル番号に基づいて配布制御リストを定義できます。この配布の方法により、管理者は個別のシリアル番号を入力するか、さまざまなロケーション プロファイルを必要とする、さまざまなユーザー組織を表す、さまざまなグループのシリアル番号を作成できます。このオプションのステップは、プロファイル・ロケーション・ファイル (*.LOA) がリモート・ユーザーに手動インポート用に送信される際、ファイルの配布を保護することを主な目的としています。配布制御リストにより、個人が適切なネットワーク・アクセスのみをインストールすることが保証されます。

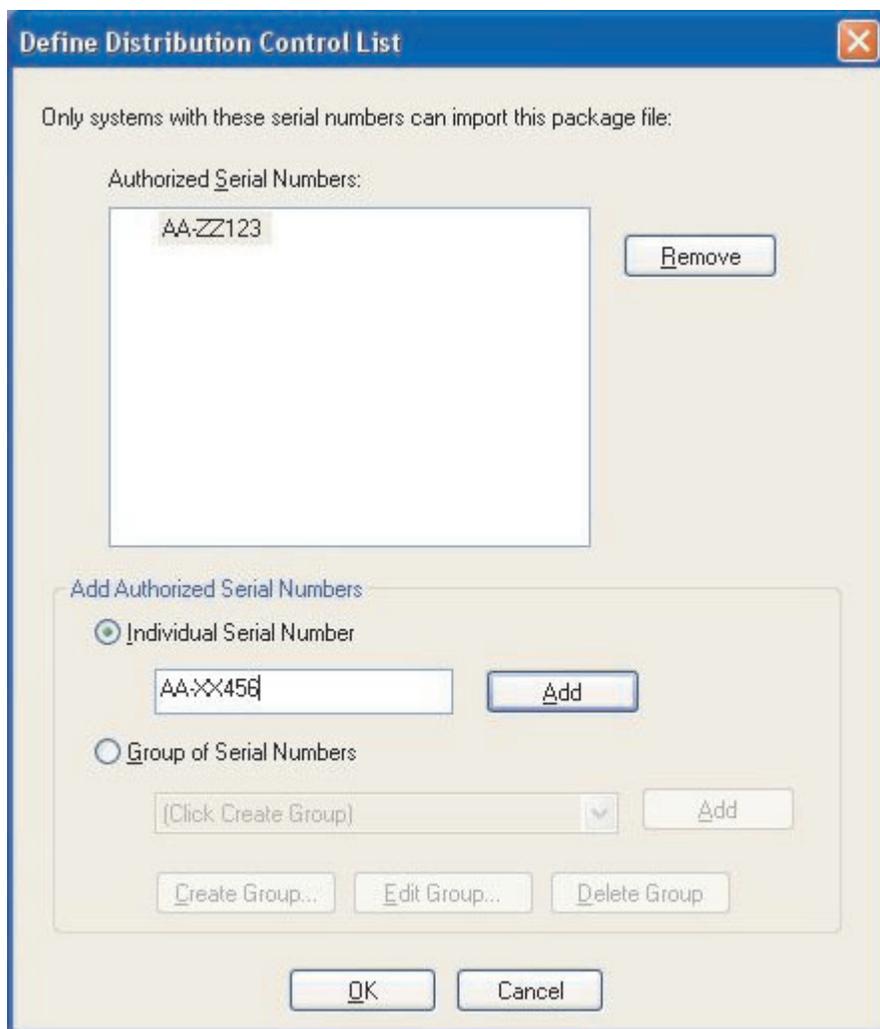


図 4. 配布制御リストの定義

シリアル番号のグループを作成する場合、シリアル番号のグループを含むフラット・テキスト・ファイルをインポートできます。ファイルは、各行に単一のシリアル番号が含まれているようにフォーマット設定される必要があります。これらのテキスト・ファイルは、管理者機能を使用して作成されたリストをエクスポートして、または資産管理システムにそのような機能があれば使用して作成できます。これにより、大多数のシステムへの配布をシリアル番号に基いて制御するプロセスが単純化されます。



図 5. グループの作成

5. オプション: *.LOA ファイルがインポートされた後に、ユーザーに対して使用可能になる機能を制御するクライアント構成ポリシーを定義できます。

注: 「Do not allow clients to become an administrator (クライアントが管理者になることを許可しない)」の横のボックスにマークを付けると、ユーザーは Access Connections のインストール時に管理者機能を使用可能にできなくなります。この設定は、規模の大きな企業環境で IT 管理者が他者によるネットワーク・アクセス・プロファイルの作成および配布を防ぎたい場合に役立ちます。クライアント構成ポリシーのパネルでも、管理者は Access Connections のグローバル設定を設定できます。エンド・ユーザーがシステムに制限ユーザーのアカウントを使用してログオンした場合、管理者は「Global Setting (グローバル設定)」の下にある「Allow all users of this system to switch to any existing location profile (このシステムのすべてのユーザーが既存のロケーション プロファイルに切り替えることを許可する)」設定を有効にする必要があります。それ以外の場合、ユーザーは管理者に提供された事前構成されたロケーション プロファイル間で切り替えることができなくなります。

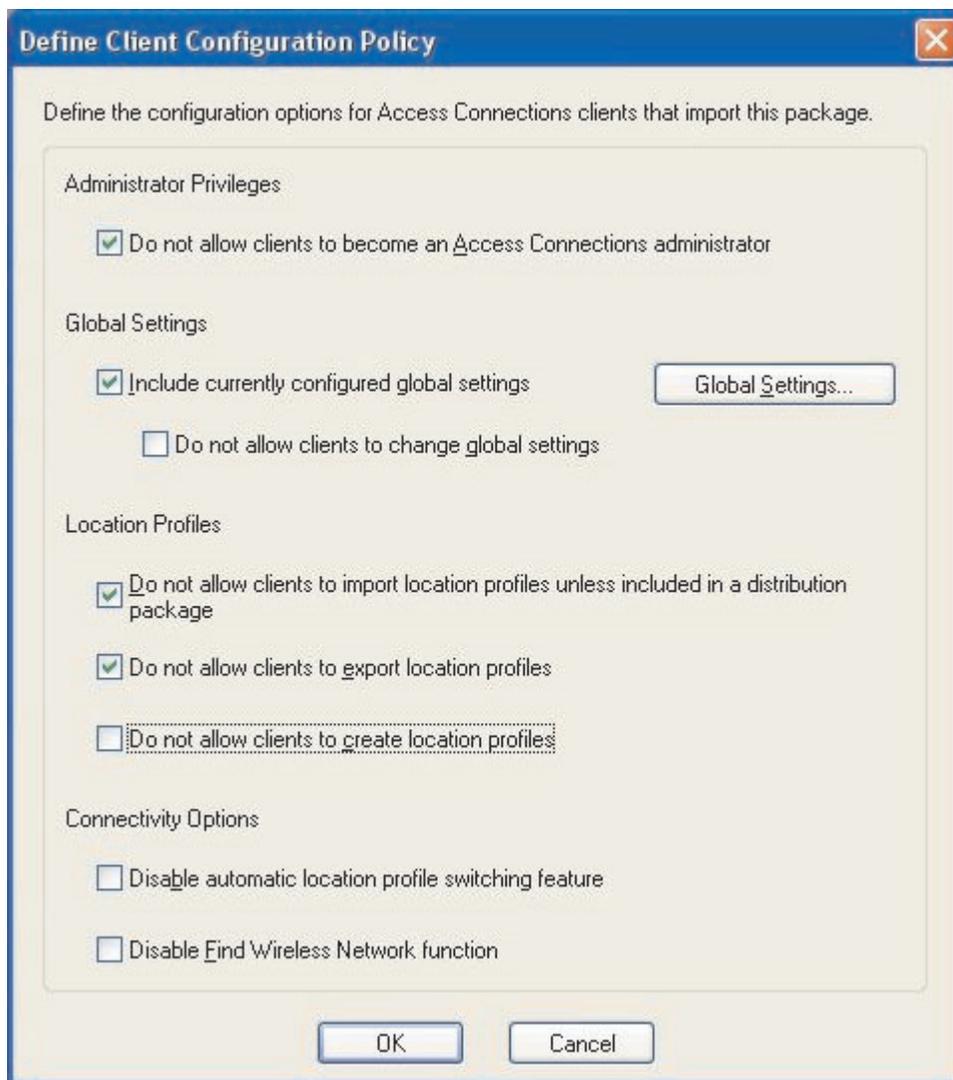


図 6. クライアント構成ポリシーの定義

6. 「Define Client Configuration Policy (クライアント構成ポリシーの定義)」ウィンドウで、すべての必要な設定を指定した後に「**Create (作成)**」をクリックする。パスフレーズ・プロンプトが表示されます。パスフレーズは、*.LOA ファイルを暗号化するために使用されます。セクション 4.4 で説明したように、Access Connections アプリケーションがインストールされている場合のみ、またはパスフレーズがユーザーに提供されている場合のみ、ファイルがインポートされません。

7. *.LOA ファイルに名前と場所を割り当てる。

重要: イメージのデプロイメントの場合、*.LOA ファイルは Access Connections インストール・ディレクトリー (C:\¥PROGRAM FILES\¥THINKPAD\¥CONNECTUTILITIES) に常駐している必要があります。

新規イメージのインストールを準備する

Access Connections ソフトウェアをデプロイするには、次のようにします。

1. Access Connections 2.7 またはそれ以降を、デプロイされているシステムのグループからのサンプル・システムにインストールする。
2. 7 ページの『管理者機能を使用可能にする』で説明されている方法で、管理者機能イネーブラーを開始する。
3. 8 ページの『管理者機能を使用する』で説明されている方法で、ロケーションプロファイルを作成する。
4. セクション 8 ページの『管理者機能を使用する』で説明されている方法で、デプロイメント・パッケージを作成する。
5. ロケーション・デプロイメント・パッケージを作成する際、「Client Configuration Policy (クライアント構成ポリシー)」ウィンドウで「Do not allow clients to become administrator (クライアントが管理者になることを許可しない)」の横のチェック・ボックスにマークを付ける。
6. 8 ページの『管理者機能を使用する』で作成した *.loa および *.sig ファイルを、他のコンピューター、取り外し可能メディア、またはネットワーク・ドライブに保管して、デプロイメント・パッケージの集合を生成する。

注: *.sig ファイルには、デプロイメント・パッケージの生成に使用されるパスワードから生成される署名データが含まれます。このファイルは、Access Connections のインストール・ディレクトリー (通常は C:\PROGRAM FILES\THINKPAD\CONNECTUTILITIES) にあります。

7. Access Connections をプロセスに応じてイメージ作成システムにインストールする。
 - イメージ作成に使用しているコンピューターが、ロケーション プロファイルを作成したコンピューターと同じである場合、イメージ作成のコンピューターから Access Connections をアンインストールして、管理者機能を除去します。Access Connections をアンインストールされた状態でイメージに追加します。単純に、セットアップ・ファイル、ステップ 6 で保管した *.loa ファイルおよび *.sig ファイルを格納するディレクトリーを作成します。
 - 新しい DWORD 値を、レジストリーの HKLM\SOFTWARE\Microsoft\Windows\CurrentVersion\RunOnce の下に追加します。
 - 値に ACinstall という名前を付け、<Path where Access Connection setup files exist>\setup.exe -s に設定します。
8. クライアント・コンピューターの初回ブート時に、Access Connections はサイレントにインストールされ、自動的に起動する。Access Connections は *.loa ファイルをサイレントにインポートします。*.loa ファイルおよび *.sig ファイルは削除されます。

Access Connections ロケーション プロファイルをリモート側でデプロイする

Access Connections をリモート側でデプロイするには、無人デプロイメントと在席デプロイメントの 2 つの方法があります。以下のセクションでは、それぞれのリモート・デプロイメントの方法を説明します。

無人デプロイメント

コンピューターが 13 ページの『新規イメージのインストールを準備する』で説明される方法でデプロイされた後、管理者はシステム管理アプリケーション (たとえば、SMS、Tivoli® など) を使用して、更新済みの *.loa ファイルをユーザーにプッシュして、下記の条件が満たされる場合は Access Connections をサイレントにインポートできます。

1. *.loa ファイルが、クライアント・コンピューターにデプロイされた最初のビルドで使用された正確なパスワードを使用して作成されている。
2. *.loa ファイルが、Access Connections インストール・ディレクトリーにある。

コンピューターを再始動するか、「System Tray (システム・トレイ)」アイコン (QCTRAY.EXE) を閉じてから、再度 Access Connections を起動して、Access Connections を再始動してください。

重要: この方法でロケーション プロファイルをデプロイするには、エンド・ユーザーは管理者レベルのアカウントを使用してシステムにログオンする必要があります。ユーザーが制限ユーザーとしてログインした場合、プロファイルはインポートされません。

在席デプロイメント

Access Connections ロケーション プロファイルをリモート・ユーザーに、または既にデプロイされているコンピューターにデプロイするには、次のようにします。

1. 管理者機能を使用して、リモート・ユーザーが必要とするプロファイルを含む *.loa ファイルを作成する。
2. エクスポート処理中に、リモート・ユーザーのコンピューターのシリアル番号を指定して、*.loa ファイルを暗号化するために使用するパスワードを設定する。
3. パスワードおよび *.loa ファイルを、個別の電子メール・メッセージ (1 つはパスワード用、もう 1 つは *.loa ファイル用) でセキュアなメディアを介してユーザーに送信する。
4. ユーザーに対する以下の指示を準備する。
 - a. *.loa ファイルをハード・ディスクに切り離す。
 - b. Access Connections を開く。(「スタート」メニューをセットアップする方法によっては、Access Connections エントリーへのナビゲーションの指示を提供する必要があります。)
 - c. 「プロファイル管理」をクリックしてから、「オプション」→「インポート/エクスポート」をクリックする。
 - d. 「ロケーション プロファイルのインポート」をクリックする。
 - e. ファイルの種類ドロップダウン選択を使用して、プロファイル配布ファイル (*.loa) ファイルを選択する。
 - f. ステップ 4a で切り離した *.loa ファイルを保管した場所を参照する。
 - g. 保管した *.loa ファイルを選択してから、「開く」をクリックする。
 - h. Access Connections はコンピューターのシリアル番号をチェックして、*.loa ファイルがコンピューターと一致することを確認する。*.loa ファイルのシリアル番号とコンピューターのシリアル番号が一致しないというメッセージが

表示される場合、*.loa ファイルを送信した管理者に連絡してください。コンピューターの正確なシリアル番号が含まれる、改訂された *.loa ファイルが必要になります。

- i. シリアル番号が一致する場合、管理者から別の電子メールで提供されたパスワードを入力するようプロンプトが出される。正確なパスワードを注意深く入力します。該当する場合は、大文字と小文字を区別します。次に Enter を押します。
5. ユーザーがパスワードを正確に入力して **Enter** を押すと、Access Connections は *.loa ファイルを復号化して、ロケーション プロファイルと、設定されたグローバル設定とアクセス制御をインポートする。*.loa ファイルは自動的に削除されます。

第 5 章 既知の問題、競合、および解決

問題、競合およびその解決が発生した場合、定期的に本書を更新して、Web に掲載します。

ワイヤレス・プロファイルのデプロイメントにおける特殊な例

クライアント・システムのワイヤレス・アダプターが、オリジナルのドナー・システムのワイヤレス・アダプターと異なる場合、Access Connections はワイヤレス・プロファイルを自動的に変換して、アダプターをクライアント・システムで使用できるようにします。ただし、以下の場合を除きます。

1. IBM High-Rate Wireless アダプターまたは Cisco ワイヤレス・アダプターのいずれかを使用していて、WPA-PSK プロファイルをシステムにデプロイできない。
2. IBM High-Rate Wireless アダプターおよび Cisco ワイヤレス・アダプターのいずれかを使用していて、WPA プロファイルをシステムにデプロイできない。
3. Lucent および Intersil ワイヤレス・アダプターを使用して、LEAP プロファイルをシステムにデプロイできない。

付録. 特記事項

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒106-0032
東京都港区六本木 3-2-31
IBM World Trade Asia Corporation
Licensing

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書で説明される製品は、その誤動作が身体傷害または生命の危険につながる恐れのある、移植その他の生命維持のためのアプリケーションで使用されることを想定していません。本書に記載される情報が、IBM 製品の仕様または保証に影響を与えること、または変更することはありません。本書の内容は、IBM または第三者の知的所有権に基づく明示または黙示の使用権または免責事項として記載されるものではありません。本書に記載されるすべての情報は、特定の環境において得られたものであり、単に例として提示されるものです。他の操作環境では、得られる結果が異なる可能性があります。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

Web サイト・アドレスの参照

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

商標

以下は、IBM Corporation の商標です。

IBM
ThinkPad
ThinkCentre
Tivoli

Microsoft、Windows、Windows NT[®] および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。